

第7回香川県高校生科学研究発表会、第1回FESTAT(統計データ利活用 の課題研究全国発表及び交流会)開催 MAIZMと連携協力を締結

7月20日(土) サポートホール高松第1小ホールにて、第7回香川県高校生科学研究発表会が開催されました。この発表会は、県内の高校生による、理数系課題研究等における研究成果や、理数系部活動における活動・研究成果を発表するものです。本校以外に、小豆島中央高校、三本松高校、高松高校、丸亀城西高校、観音寺総合高校、高松第一高校が発表しました。また、観音寺中学校の中学生の発表もあり、有意義な情報交換の場となりました。本校は、口頭発表部門「アシストカアップが香川ファイブアローズの勝利の鍵」が奨励賞、ポスター発表部門「BDF～エコな燃料の利活用方法を探る～」が優秀賞、「エライオソームの構成物質とアリの種子運搬」・「紫外線を原因とする印刷物劣化の抑制」が奨励賞として表彰されました。



7月26日(金)、三豊市役所において、みとよAI社会推進機構(MAIZM)と本校とが、連携協力に関する合意書の締結を執り行いました。本校は、今年度からスーパーサイエンスハイスクールの科学技術人材育成重点校の指定を受け、統計・データサイエンス分野での先駆けとなるべく様々な取り組みを進めています。その一環として、AI・ディープラーニング技術を用いた課題解決を推進し、地域及び社会の活性化に寄与している「MAIZM(みとよAI社会推進機構)」と連携協力し、情報処理技術によって人材育成・地域活性化に貢献して参ります。



7月28日（日）ハイスタッフホール（多目的ホール）にて、第1回 FESTAT（全国統計探究発表会）が開催されました。この会は、本年度からスーパーサイエンスハイスクールの科学技術人材育成重点校の指定を受けた本校が、全国で初めて、高校生や大学生及び地域の小学生・中学生による統計分析・データ利活用の探究の発表及び交流の場を設けようと企画したものです。本校生徒を始め、滋賀大学、香川大学、観音寺中学校、長野県上田高等学校、愛知県立旭丘高等学校、愛知教育大学附属高等学校、福井県立若狭高等学校、山口県立下関西高等学校、徳島県立脇町高等学校、愛媛県立松山南高等学校、熊本県立宇土中学校・宇土高等学校の参加を得て、積極的な意見、質問が飛び交う、素晴らしい会となりました。ポスターセッション、口頭発表、そして、五十嵐康伸氏（E2D3.org パーソナルキャリア株式会社代表）と取口敏憲氏（株式会社 技術評論社 雑誌編集部 副編集長）の講演・対談と内容の濃いものでした。

